

平成30年度決算に係る

定期監査
決算審査
調書

令和元年9月

地域づくり推進部 文化政策課

目次

	頁
1 前年度指摘事項等に対する措置等	1
(1) 指摘事項	1
(2) 監査意見	1
(3) 決算審査意見	1
2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3 組織及び業務調べ	1
4 職員の定員、現員調べ	2
5 役付職員の調べ	2
6 主な事業に関する調べ	3
7 決算調書(総括表)	7
8 事業別実施状況調べ	8
9 予備費の充用調べ	18
10 繰越関係調べ	18
(1) 継続費遅欠繰越調べ	18
(2) 繰越明許費調べ	18
(3) 事故繰越調べ	18
11 収入証紙取扱額調べ	18
12 収入事務処理状況調べ	19
(1) 分担金及び負担金	19
(2) 使用料	19
(3) 手数料	19
(4) 財産収入	19
(5) 寄付金	19
(6) 諸収入	20
(7) 現金の取扱状況	20
13 税外収入未済額調べ	20
14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ	20
15 税外収入不納欠損額調べ	20
16 債務負担行為の状況調べ	21
17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	22
(1) 負担金	22
(2) 補助金	22
(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	25
(3) 交付金	25
(4) 委託料	26
(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	28
18 工事請負費調べ	29
18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	30
19 財産に関する調べ	31
(1) 公有財産	31
(2) 金券類の受払状況	32
(3) 基金	32
(4) 債権	32
20 財産の貸付及び使用許可調べ	33
(1) 土地及び建物	33
(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	34
21 借受不動産明細調べ	43
22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	43
(1) 職員住宅	43
(2) 職員駐車場	43
23 寄附物件の受納状況調べ	43
24 備品の処分状況調べ	43
25 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	48
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	48
(2) 物品の照合	48
26 貸付金等状況調べ	48
(1) 総括表	48
(2) 償還状況	48
○ 意見、要望等	48

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

指摘事項	措置でん末
<p>県民・地域が文化芸術によって豊かになっていく社会を実現するためには、幅広い世代による参画が必要です。県では、「とっとりアート」「鳥取県美術展覧会」「とっとり伝統芸能まつり」など様々な催しを展開していますが、いずれも若い世代の参画割合が高いとは言えないのが現状であり、次世代を担う人材育成や文化芸術に関心を持ってもらうための取組を今後も積極的に行うべきであります。</p> <p>また、学校教育現場での鑑賞・体験機会を確保することも重要です。現在、「とっとり芸術宅配便」や「表現ワークショップ研究事業(トリジユク)」などによって児童・生徒が文化芸術に触れる場を設けていますが、いずれも将来の本県の文化芸術振興に必要かつ可能性のある事業だと考えています。教育委員会・学校現場との連携を深め、回数増や横展開を検討するなど、更に鑑賞・体験機会を充実させるべきであります。</p> <p>なお、若年層のスポーツ競技力向上にとって指導者が果たす役割は非常に大きいものがありますが、これは文化芸術における次世代の人材育成にも同じことが言えると考えます。若年層の参画促進を図るため、指導者の確保・育成といった観点からの取組強化も検討すべきであります。</p>	<p>「とっとりアート(鳥取県総合芸術文化祭)」の人材育成部会では、児童・生徒を対象にしたワークショップ等により人材の育成に取り組んでおり、とっとり伝統芸能まつりでは子どもたちや若い世代の出演演目を加えたり、高校生ボランティアの運営参加により生徒達の関心を喚起するなどの取組を行っていますので、引き続き実行委員会等と相談しながら、出演者やスタッフ等として若い世代の参加が増える方法を検討していきます。</p> <p>また、特に若い世代に情報が届きやすい媒体として平成30年6月より開始した「アートピアとっとり@公式SNS」について、様々な文化芸術イベントチラシに掲載するなど主催者や出演者等の協力も得ながら当SNSの認知度を高め、若い世代へ情報発信するとともに、参画の働きかけ等を行います。</p> <p>学校教育現場での鑑賞・体験機会となっている「とっとり芸術宅配便」について、校長会での周知等により実施校が増加するよう取り組みます。</p> <p>また、ととりの芸術宅配便事業で実施している指導者研修は、今後指導者を目指す方も対象にしており、この研修に加え指導現場の見学等により指導者の確保・育成に取り組んでいきます。</p> <p>演劇の手法を活用した「表現ワークショップ研究事業(トリジユク)」についても、その成果を教育委員会・学校現場と共有しながら横展開を検討していきます。</p> <p>博物館では、現在、毎週土曜日に開催しているワークショップの中で、子ども向けワークショップを開催しているほか、学校での県立博物館の美術コレクションの展示解説を行う「コレクション宅配便」を開催するなど、子ども達をはじめとして、より多くの方に鳥取県の美術コレクションに親近感と関心を持っていただくための取組を行っており、今後も継続していきます。</p> <p>さらに、新たな県立美術館の特色として、「美術ラーニングセンター」の機能を設けることとしており、子どもたちの美術を通じた学びへの支援を学校教育と連携して行うこととしています。</p> <p>なお、新美術館開館は数年先となるため、現在は、デジタルコンテンツの試行や教職員向け研修、小学生招待などにより、美術館活動の効果を先行して波及させる取組を行っているところであり、新美術館開館時には学校教育との連携をさらに進めたいと考えています。</p> <p>その他、美術アーティストと作品に出会う機会の提供や子ども向け企画展の開催などの新たな事業なども検討の視野に入れ、文化芸術に関心を持ってもらうための取組を充実させていきたいと考えています。</p> <p>また、高等学校においては県外の優秀な指導者を招いた研修会の開催や全国レベルの指導者研修への派遣等を行うことで、指導者の専門性の向上を目指しているところです。また、中学校においても、中学校文化連盟など関係機関とも相談しながら、指導者の確保・育成について検討していきたいと思います。</p> <p>今後も引き続き、外部の人材の活用や、指導者の育成に向けて支援を行っていきたくと考えています。</p>

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
文化政策課	企画調整担当	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興行政の企画及び総合調整に関すること。 ・県民文化会館、倉吉未来中心、童謡館及び米子コンベンションセンターに関すること。
	文化芸術担当	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の推進に関すること。 ・総合芸術文化祭に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	31.4.1 現在	30.4.1 現在	31.4.1 現在	30.4.1 現在	31.4.1 現在	30.4.1 現在	31.4.1 現在	30.4.1 現在	
定 員	10	9					10	9	
現 員	() 11	() 10	()	()	()	()	() 11	() 10	
過不足(△)	1	1	0	0	0	0	1	1	
臨時職員	1						1	0	
非常勤職員	3	3					3	3	事務

5 役付職員の調べ

(令和元年 9月 1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
文化振興監兼文化政策課長	池上 祥子	1	5	
課長補佐	涌島 博文	1	5	
課長補佐	門脇 美里		5	
課長補佐	福井 尋充		5	

6 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名		決算(見込)額	財源内訳		
第16回とりアート(総合芸術文化祭)開催事業		74,422	国庫支出金	その他	一般財源
				74,422(繰入金)	
鳥取元気プロジェクト	I 人を元気に ⑮文化芸術のふるさと「アートピアとっとり」推進と、拠点となる美術館建設へ				
元気づくり総合戦略	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ ～鳥取+rhythm～ (3)まちづくり ・アート・文化による地域づくり				
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的 心豊かで潤いのある県民生活及び個性豊かで活力ある社会の実現を図るため、県民みんなでつくる文化芸術の祭典として開催される「第16回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2018」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して支援を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
主催	鳥取県総合芸術文化祭実行委員会				
開催会場	とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市児童文化センター等を中心に県内全域で開催				
及び期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日				
事業内容	<p>○メイン事業オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉未来中心 平成30年12月24日(月・振休) 入場者632人 ・グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」をもとにドイツの作曲家エンゲルベルト・フンパーディンクが作曲したオペラを県内の音楽活動者、地元バレエ団、少年少女合唱団等の出演によって上演した。 <p>○東部・中部・西部各地区事業</p> <p>東部・中部・西部の各地区の特色を生かし、地区ごとに誰もが気軽に文化芸術に親しむことができるイベントやワークショップ・展示などを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部:平成30年12月8日～9日 とりぎん文化会館 32事業 来場3,495人 ・中部:平成30年11月10日～11日 倉吉未来中心 43事業 来場5,241人 ・西部:平成30年9月22日～23日 米子市児童文化センター 24事業 来場1,811人 <p>○舞台のためのコミュニケーションワークショップ</p> <p>とりアート及び県内の文化芸術活動を担う人材の育成を目指し、若い世代のコミュニケーション能力の向上や表現力を高めるためのワークショップを県内3地区で実施し、39人の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部:平成31年2月9日 とりぎん文化会館 ・中部:平成31年2月10日 倉吉未来中心 ・西部:平成31年2月11日 米子市淀江文化センター <p>○指導者のためのコミュニケーションワークショップ</p> <p>指導者の指導力向上を図るための講座を県内1地区で実施し、25人の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年2月10日 倉吉未来中心 <p>○県内の文化芸術イベントの情報発信</p>				
イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点(実行委員会による見直し)					
○メイン事業では、公演を通して通常オペラに触れる機会が少ない地元バレエ団や少年少女合唱団が共演することによりオペラを学ぶ機会やプロから指導を受けることで次代を担う子どもたちに大きな活力となる機会を提供した。					
○地区事業では、伝統芸能である麒麟獅子舞の披露、折り紙ワークショップなど誰もが気軽に親しむことができる内容とした。					
○小・中・高校生を対象としたコミュニケーションワークショップに加えて、大人を対象とした指導力向上のワークショップを開催した。					

ウ 成果及び効果

- メイン事業のアンケートでは、観客満足度は88.5%であった。さらに「とても満足した」は全回答数の59%となっていることから、来場者が満足する質の高い内容を提供できていた。
- メイン事業は、質の高い内容の提供、少年少女合唱団等の若年者の参加により、オペラに興味を持つ人だけでなく、一般の方が鑑賞する機会につながった。
また、次世代を担う活動者・指導者の育成が行われ、その効果はとっとり芸術宅配便事業などとりアート以外の事業にも活かされ、県内の文化水準の向上に寄与している。
- 地区事業の入場者は、10,547人となり、アンケートによる満足度も全体で95.6%となり、好評であった。
- 東部地区事業は、夜間に県内で活躍する作曲家やピアニスト等によるコンサートや障がい者団体などの出演により、誰もが楽しめる企画を提供することができた。
- 中部地区事業は、子どもが楽しめるクイズラリーの開催やフリースペースでの展示など、誰もが参加しやすく、気軽に文化芸術に触れることができるイベントを開催した。
- 西部地区事業は、米子市児童文化センターの施設の特性を活かし、「こどもと一緒にアートしよう！」をテーマに、親子を対象にした企画を実施することができた。

エ 課題

- とりアートを通して文化活動者の連携や交流を一層図り、地域の活動者たちが文化芸術活動をより楽しめる環境づくりや発表の機会の提供を引き続き行っていくことが必要である。
- 一過性のイベントで終わることなく、とりアートへの参画を機に出演者・団体同士の交流・連携が継続される仕組みが必要である。
- 「とりアート」の認知度向上のため、市町村、教育機関、参加者との連携等による更なる広報活動の充実や若者が情報を入手しやすいSNS(ソーシャルメディアネットワーク)の活用など、工夫が必要である。

事業名		決算(見込)額	財源内訳		
第62回鳥取県美術展覧会開催事業		23,654	国庫支出金	その他	一般財源
			0	1,096(雑入)	22,558
鳥取元気プロジェクト	I 人を元気に ⑮文化芸術のふるさと「アートピアとっとり」推進と、拠点となる美術館建設へ				
元気づくり総合戦略	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ ～鳥取+rhythm～ (3)まちづくり ・アート・文化による地域づくり				
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示する鳥取県美術展覧会を開催することにより、鑑賞機会を提供し、美術、文化の振興に寄与する。</p> <p>美術に取り組む人にとっては、県展入選が一つの目標であり刺激を受ける場でもある。また、美術に興味のある人にとっては、鑑賞する楽しみや文化芸術に取り組んでみようということにつながるものであり、県内の美術人口の拡大につながっている。</p>					
(イ) 事業の実施状況					
主催	鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社				
共催	米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館				
運営委託先	日本通運株式会社鳥取支店				
開催会場 及び期間	鳥取県立博物館 平成30年9月15日～24日 米子市美術館 平成30年10月6日～15日 日南町美術館(※選抜展) 平成30年10月19日～10月28日 倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館 前期：平成30年11月10日～16日 後期：平成30年11月20日～11月26日				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○部門 洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン ○日程 平成30年9月2日作品受付 平成30年9月5日審査会 平成30年9月15日表彰式(開幕日) ○審査会 ・審査員は部門ごとに4名又は5名で構成され、いずれの部門にも1名の県外審査員を任命。 ・一般出品作品476点から審査により339点を入選作品(入選率71.2%)とし、さらに入選作品の中から、県展賞・奨励賞・受賞候補作品(計80点)を決定した。 ○出品料 1点につき2,000円(学生は無料) ○表彰式 ・展覧会の開幕日に鳥取県立博物館で県展賞受賞者16名と奨励賞受賞者32名を招いて実施。表彰式後に受賞作品講評及びギャラリートークも行った。また、各開催会場でもギャラリートークを実施した。 ○展示数 ・一般応募の入選作品339点、無鑑査作家、運営委員、審査員の作品115点の合計454点を展示した。 				
イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ○前年度に引き続き、展示・輸送業務、広報物、図録作成、作品受付など運営業務(運営部会の開催、審査員・運営委員の調整等を除く)を外部委託し、業務の効率化を図った。 ○新聞記事を複数回掲載(全20回)する等、広報の充実を図り、より多くの県民に鑑賞してもらえるよう努めた。 ○チラシ・ポスターのキャッチフレーズ及びデザインを固定化することにより、県展であることをわかるようにした。 ○部門ごとの審査講評及び県展賞受賞作品の審査講評をパネル化し会場に掲示することにより、鑑賞者の作品に対する理解向上につながった。 					

ウ 成果及び効果

- 4会場での入場者数は9,573人となり、18年振りに1万人を超えた昨年の入場者数に及ばなかったものの、直近10年間で二番目に多い来場者数となった。
- 一般応募者に占める学生の出品割合は9.0%と直近10年間で最高値となった。
- アンケートにおいて、県展を知った媒体について「新聞・ミニコミ誌等」の回答が33.6%、「家族・友人・知人」が25.9%と多く、新聞記事等による広報の効果があったと考えられる。

エ 課題

- 一般応募者数について、平成23年度の556人から平成30年度は476人となっており、減少傾向にある。出品者の固定化などの要因も考えられることから新規の出品者の掘り起し等に取り組む必要がある。
- 版画部門において、版種をキャプションに掲載したところ、アンケート結果でもよい取組と評価する回答が46.8%あったことから、版画以外の部門において素材や技法などをキャプションに掲載する。

7 決算調書

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	行政財産使用料	345,000			345,000	502,527	502,527	0	0	
	総務費国庫補助金	55,645,000			55,645,000	24,368,000	24,368,000	0	0	
	物品売払収入	0			0	70,000	70,000	0	0	
	総務費寄附金	0			0	500,000	500,000	0	0	
	鳥取元気づくり推進 基金繰入金	89,907,000			89,907,000	88,034,409	88,034,409	0	0	
	市町村受託事業収入	14,476,000			14,476,000	13,152,780	13,152,780	0	0	
	雑 入	20,209,000	7,843,000		28,052,000	40,189,089	40,189,089	0	0	
	総 務 債	453,000,000	△ 3,000,000	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)	(0)	0	0	
				6,000,000	456,000,000	397,000,000	397,000,000	0	0	
	前年度繰越金	0	0	(3,839,200)	(3,839,200)	(3,839,200)	(3,839,200)	0	0	
			3,839,200	3,839,200	3,839,200	3,839,200	0	0		
合 計	633,582,000	4,843,000	(9,839,200)	(9,839,200)	(3,839,200)	(3,839,200)	0	0		
			9,839,200	648,264,200	567,656,005	567,656,005	0	0		

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予 算 現 額				決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越額	予備費支出及び 費用増減		計 A	本 庁			
歳出	計 画 調 査 費	1,378,965,000	△ 595,000	(9,839,200)		(500,000)	(500,000)		(9,339,200)		
				9,839,200		1,388,209,200	1,280,076,608	1,100,153,928	179,922,680	33,304,800	74,827,792
	合 計			(9,839,200)		(9,839,200)	(500,000)	(500,000)		(9,339,200)	
		1,378,965,000	△ 595,000	9,839,200		1,388,209,200	1,280,076,608	1,100,153,928	179,922,680	33,304,800	74,827,792

8 事業別実施状況調べ

(単位: 円)

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額
(計画調査費)						
① 第16回とりアート(総合芸術文化祭)開催事業	74,907,000	0	74,421,409	0	485,591	
② 第62回鳥取県美術展覧会開催事業	23,950,000	0	23,653,540	0	296,460	
文化芸術地域モデル全国発信事業	15,000,000	0	13,613,000	0	1,387,000	
全国へ情報発信し、芸術活動による地域のモデルとなり得る文化芸術事業に対して支援を行った。 [補助実績] 1件 (特定非営利活動法人鳥の劇場)						
舞台芸術拠点創造事業	43,480,000	0	37,407,000	0	6,073,000	
◇鳥の劇場運営委員会補助金 国内外の多種多様な上演を間近で体験できる「地方における舞台芸術」の活動と情報発信に取り組む「鳥の演劇祭11」の開催及び舞台芸術(演劇)の手法を教育面に活用する「表現ワークショップ研究事業」の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:鳥の劇場運営委員会)						
(1)鳥の演劇祭11開催事業						
期間	平成30年9月6日～9月23日					
会場	鳥の劇場及び鹿野町内各所(旧鹿野町役場・議場「議場劇場」(鹿野町総合支所内)、鹿野往来交流館「童里夢」等)					
内容等	■海外の劇団等による公演(5公演(10回)) NIKKI&JD『小さいサーカス"KNOT"ーきずな』(イギリス)、TBTB『第四の壁』(アメリカ)、プロジェクト・ホワイル『お客さんたち』(韓国)、若手振付家ほか『アジア・ダンスの芽』(香港)、韓国芸術総合学校『主なき土地』(韓国)の5団体 ■国内の劇団等による公演(5公演(13回)) 鳥の劇場、じゆう劇場(障がい者と健全者が共につくる劇団)、県外招へい団体(劇団うりんこ(愛知)、BATIK(東京)等)など ■その他 地域住民や高校生の参加による作品公演、ワークショップ、トークイベント、シンポジウム、町歩きイベント等					
来場者数	のべ2,280人。					
※同時期開催の「週末だけのまちのみせ(地元まちづくり協議会主催)」及び「わったいなまつり(鳥取市鹿野町総合支所主催)」と演劇祭との相乗効果により地域に賑わいを創出した。						
(2)鳥の演劇祭拡充事業 フリンジプログラム 通常の鳥の演劇祭に加えて、鳥の劇場がこれまで蓄積した地域と演劇との関係を土台にし、周辺施設(くるびや劇場(旧スーパーマーケット))を会場に、全国の小劇場、おやこ劇場等の協力を得て親子で楽しめる作品を上演し、ミーティングを通して参加団体間等との交流を図った。(参加人数:のべ728人)						
(3)鳥取文化魅力体験賑わい創出事業(まちなか賑わい創造) 劇場の活動を、地域の誇りや活力、観光につないでいくための事業として、人気演目の舞台セットや衣装などで装飾した「テーマハウス」の設営、食やカフェが楽しめる「イワン食堂」「山陰三つ星マーケット」の出店、因州和紙に写真をプリントした「小鳥の家族」展示やこぼあそびワークショップなどを鳥の演劇祭と併催した。(参加人数:のべ1,842人)						
(4)学校教育連携事業「表現ワークショップ(トリジユク)研究事業」 前年度に引き続き、演劇の手法を活用し、青山学院大学の協力のもと、義務教育学校「鹿野学園」と県立青谷高校の全学年を対象に思考力、判断力、表現力等を磨くことを目的に年間を通じて表現ワークショップを実施した。(参加人数:4時限1単位としてのべ685人)						

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額									
岡野貞一生誕140年記念事業	2,000,000	0	1,980,290	0	19,710	<p>平成30年に生誕140年を迎える音楽家・岡野貞一を顕彰する「岡野貞一生誕140年記念事業」を実施するにあたり、鳥取市と協働して事業実施に係る支援を行った。(補助対象団体:「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会)</p> <p>(補助内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念コンサート(H30.4.14:とりぎん文化会館)、特別展(H30.4.7~4.30:わらべ館)の実施 ・記念名曲集(楽譜集)、記念資料集の作成 ・実行委員会開催経費(1回)(H30.7.20) ・広報経費(フリーペーパー広告、ラジオ広告)等 									
アートによる地域活性化事業	8,831,000	0	8,258,732	0	572,268	<p>本県の魅力ある制作環境を活しながら、アートを使った地域活性化活動を行う団体の取組を支援した。また、各団体間との情報共有や意見交換の場として、外部講師を招いた勉強会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アートによる地域活性化促進事業</td> <td>地域と連携し、文化芸術を通じた地域活性化を目指す地域づくり団体の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:スタート型7団体、ステップアップ型1団体)</td> </tr> <tr> <td>市町村連携型地域活性化拠点事業</td> <td>市町村と連携し、文化芸術を通して地域活性化を目指す地域づくり団体の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:岩美現代美術展実行委員会(岩美町)、ことりり舎(鳥取市気高町)、AIR475(米子市)、明倫AIR(倉吉市))</td> </tr> <tr> <td>鳥取大学連携型地域活性化事業</td> <td>鳥取大学と連携して、文化関係団体が行う文化芸術活動に対して支援を行った。 (補助対象団体:ホスピタイル・プロジェクト実行委員会)</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	アートによる地域活性化促進事業	地域と連携し、文化芸術を通じた地域活性化を目指す地域づくり団体の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:スタート型7団体、ステップアップ型1団体)	市町村連携型地域活性化拠点事業	市町村と連携し、文化芸術を通して地域活性化を目指す地域づくり団体の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:岩美現代美術展実行委員会(岩美町)、ことりり舎(鳥取市気高町)、AIR475(米子市)、明倫AIR(倉吉市))	鳥取大学連携型地域活性化事業	鳥取大学と連携して、文化関係団体が行う文化芸術活動に対して支援を行った。 (補助対象団体:ホスピタイル・プロジェクト実行委員会)	
事業名	事業内容														
アートによる地域活性化促進事業	地域と連携し、文化芸術を通じた地域活性化を目指す地域づくり団体の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:スタート型7団体、ステップアップ型1団体)														
市町村連携型地域活性化拠点事業	市町村と連携し、文化芸術を通して地域活性化を目指す地域づくり団体の取組に対して支援を行った。 (補助対象団体:岩美現代美術展実行委員会(岩美町)、ことりり舎(鳥取市気高町)、AIR475(米子市)、明倫AIR(倉吉市))														
鳥取大学連携型地域活性化事業	鳥取大学と連携して、文化関係団体が行う文化芸術活動に対して支援を行った。 (補助対象団体:ホスピタイル・プロジェクト実行委員会)														
工芸・アート村推進事業	9,000,000	0	8,000,000	0	1,000,000	<p>複数の作家やアーティストが居住地、活気ある創作活動が行われることで新たな人と物の流れを生み出す「工芸・アート村」の創出・推進を図るため、各地域の魅力を発掘・発信する取組や、その地域に作家・アーティスト等の移住や交流を促す取組を支援した。</p> <p>[補助実績]2件(こっちの大山研究所、一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃく)</p>									
鳥取県文化芸術振興審議会運営費	245,000	0	245,000	0	0	<p>平成29年6月、文化芸術基本法が改正され、都道府県等において「地方文化芸術基本計画」を策定することが努力義務として規定されたことを受け、平成31年3月「アートピアとっとり行動指針」を策定し、本県の文化芸術振興の目指す姿を明らかにし施策の方向性を定めた。</p> <p>策定にあたっては、鳥取県文化芸術振興審議会を開催し、意見聴取を行った。</p> <p>【アートピアとっとり行動指針の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期間 平成31年度から令和5年度(5年間) ○目指す姿 県内あらゆる場所でアートが花開く、創造性と活力に満ちた鳥取県 ○実現に向けた3つの柱 <ul style="list-style-type: none"> I とっとりで「アート」に親しむ ～環境づくり～ II ととりの「アート」が育む・「アート」を育む ～人づくり～ III 「アート」で元気に ～地域づくり～ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H30.5.17(木)</td> <td>行動指針(骨子(案))について意見交換</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H30.11.21(水)</td> <td>関係団体意見や県民参画電子アンケートを踏まえた行動指針(案)について意見交換</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催日	内 容	第1回	H30.5.17(木)	行動指針(骨子(案))について意見交換	第2回	H30.11.21(水)	関係団体意見や県民参画電子アンケートを踏まえた行動指針(案)について意見交換
区分	開催日	内 容													
第1回	H30.5.17(木)	行動指針(骨子(案))について意見交換													
第2回	H30.11.21(水)	関係団体意見や県民参画電子アンケートを踏まえた行動指針(案)について意見交換													

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額								
鳥取県文化芸術事業評価事業	830,000	0	735,373	0	94,627	<p>県が実施又は助成する文化芸術事業について、良質な作品創造や県民の文化芸術事業への鑑賞、参加の機会の充実及び効率的な事業の運営方法の確立に資するため、評価委員会を設置し、事業評価を行った。(委員12名)</p> <p>(1) 評価対象事業 県、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会主催及び鳥取県文化団体連合会加盟団体の実施事業のうち委員会で定めるもの。</p> <p>(2) 委員会の開催状況 (第1回) ○開催日 平成30年5月15日(火) ○議題 平成29年度評価報告書について 平成30年度評価事業の実地検証について 他</p> <p>(第2回) ○開催日 平成30年8月23日(木) ○議題 評価対象事業にかかる意見交換 事業別評価報告書(案)の検討 他</p> <p>(第3回) ○開催日 平成31年3月18日(月) ○議題 評価対象事業にかかる意見交換 事業別評価報告書(案)の検討 他</p>								
鳥取県文化団体連合会活動支援事業	17,913,000	0	16,285,884		1,627,116	<p>鳥取県文化団体連合会が県民の文化活動への参加を促すために行う事業及び鳥取県文化団体連合会に加盟する団体が行う文化事業の実施に係る経費の助成を行った。 また、地域における文化活動の活性化と加盟団体間の更なる交流と連携を図ることを目的とする事業実施を鳥取県文化団体連合会に委託した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名等</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信</td> <td>機関誌「鳥カルだより」や鳥取県文化団体連合会情報ページ「とりカルネットコーナー」鳥取県文化振興財団情報誌「Arte(アルテ)」等において、広く県民への情報発信を実施。</td> </tr> <tr> <td>加盟団体実施事業への補助</td> <td>県文化団体連合会に加盟する県域文化団体が実施する文化事業に助成し、文化活動の振興を図った。「県民による第九米子公演」(県民による第九公演実行委員会)他23事業。</td> </tr> <tr> <td>芸術たのしみ広場</td> <td>文化団体が共同で初心者のための芸術入門講座を開講し、地域における文化活動の活性化と加盟団体間の更なる交流と連携を図った。</td> </tr> </tbody> </table>	事業名等	事業内容	情報発信	機関誌「鳥カルだより」や鳥取県文化団体連合会情報ページ「とりカルネットコーナー」鳥取県文化振興財団情報誌「Arte(アルテ)」等において、広く県民への情報発信を実施。	加盟団体実施事業への補助	県文化団体連合会に加盟する県域文化団体が実施する文化事業に助成し、文化活動の振興を図った。「県民による第九米子公演」(県民による第九公演実行委員会)他23事業。	芸術たのしみ広場	文化団体が共同で初心者のための芸術入門講座を開講し、地域における文化活動の活性化と加盟団体間の更なる交流と連携を図った。
事業名等	事業内容													
情報発信	機関誌「鳥カルだより」や鳥取県文化団体連合会情報ページ「とりカルネットコーナー」鳥取県文化振興財団情報誌「Arte(アルテ)」等において、広く県民への情報発信を実施。													
加盟団体実施事業への補助	県文化団体連合会に加盟する県域文化団体が実施する文化事業に助成し、文化活動の振興を図った。「県民による第九米子公演」(県民による第九公演実行委員会)他23事業。													
芸術たのしみ広場	文化団体が共同で初心者のための芸術入門講座を開講し、地域における文化活動の活性化と加盟団体間の更なる交流と連携を図った。													
芸術鑑賞教室開催補助金	10,000,000	0	9,670,698	0	329,302	<p>鳥取県文化振興財団が取り組む県内の高等学校等における芸術鑑賞機会の提供等に係る経費の助成を行った。</p> <p>(1) 鳥取県芸術鑑賞教室(高等学校・特別支援学校) 県内の高校及び特別支援学校の生徒を対象に、学校施設等において芸術を鑑賞する機会を提供した。 ○鑑賞演目:ヘレン・ケラー公演、岡本知高ソプラニスタ・コンサート公演 ほか ○公演数 :9公演 ○鑑賞者 :鳥取養護学校ほか8校 計4,184名</p> <p>(2) 児童生徒を対象とした芸術文化事業(芸術鑑賞教室(小中学校)、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演) 県内の小中学校の児童、生徒を対象に、学校施設等において芸術を鑑賞する機会をあっせんした。 ○鑑賞演目:「児童劇:グルムのハンスと大悪魔」、「はなしの伝統芸能『落語』」 ほか ○公演数 :32公演 ○鑑賞者 :南部町立法勝寺中学校ほか40校 計7,989名</p>								

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額																
青少年のための弦楽入門講座開催支援事業	2,718,000	0	2,718,000	0	0																	
<p>県内で弦楽器を始めて間もない青少年に弦楽器の魅力を伝え、技術的な支援を行うことで、青少年の弦楽活動の振興を図ることを目的に入門講座を開催する実行委員会に対し、経費の助成を行った。</p> <p>○事業主体：鳥取県東部地区青少年のための弦楽入門講座開催事業実行委員会 外2団体</p>																						
芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業	234,000	0 (174,920)	408,920	0	△ 174,920	・鳥取県魅力ある展示支援事業補助金から流用 ・とっりの文化芸術探訪事業から流用																
<p>県民が気軽に文化芸術イベントに参加できるよう託児サービスやバリアフリー映画の上映などの環境整備を行う団体等に対し、経費の助成を行った。</p> <p>○助成実績 7件/7団体(鹿野町民音楽祭実行委員会 外6団体)</p>																						
鳥取県魅力ある展示支援事業	2,300,000	0 (△159,800)	1,366,000	0	934,000	・芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業へ流用																
<p>文化拠点として魅力ある博物館づくりを推進するため、博物館等(公立は除く)が実施する作品展開催事業及び博物館等(県立を除く)が実施する収蔵品調査事業に対し、経費の助成を行った。</p> <p>○助成実績 ①魅力ある展示支援事業 1件/1団体 666,000円 公益財団法人渡辺美術館 ②収蔵品等調査・活用支援事業 2件/2団体 700,000円 一般社団法人因幡街道ふるさと振興財団 外1団体</p>																						
第16回鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業	18,001,000	0	17,409,222	0	591,778																	
<p>児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高めることを目的に、第16回鳥取県ジュニア美術展覧会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>展示会場</th> <th>会 業</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本展示</td> <td>倉吉博物館</td> <td>平成30年12月15日(土)~24日(月・休)</td> <td>1,144人</td> </tr> <tr> <td>地区展</td> <td>鳥取県立博物館</td> <td>平成31年1月12日(土)~20日(日)</td> <td>1,917人</td> </tr> <tr> <td>地区展</td> <td>米子市美術館</td> <td>平成31年1月26日(土)~2月3日(日)</td> <td>1,991人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○来場者数：5,052人(前年5,255人) ○出品数：6,736点(前年6,187点) ○入選総数：1,403点(前年1,424点)</p>							区分	展示会場	会 業	来場者数	本展示	倉吉博物館	平成30年12月15日(土)~24日(月・休)	1,144人	地区展	鳥取県立博物館	平成31年1月12日(土)~20日(日)	1,917人	地区展	米子市美術館	平成31年1月26日(土)~2月3日(日)	1,991人
区分	展示会場	会 業	来場者数																			
本展示	倉吉博物館	平成30年12月15日(土)~24日(月・休)	1,144人																			
地区展	鳥取県立博物館	平成31年1月12日(土)~20日(日)	1,917人																			
地区展	米子市美術館	平成31年1月26日(土)~2月3日(日)	1,991人																			
「とっとりアートスタート」推進事業	1,600,000	0	1,277,350	0	322,650																	
<p>子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、「子育て王国とっとり」の魅力アップを図るため、0歳から未就学の乳幼児の豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供するアートスタート活動を支援した。</p> <p>・助成実績：11市町16件(鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、八頭町、琴浦町、大山町、南部町、日南町、日野町) ・助成金額：1,277,350円</p>																						

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額
鳥取県文化芸術活動支援補助金	7,362,000	△ 704,000 (△30,500)	6,072,000	0	586,000	・地域の伝統芸能魅力発見・発信事業へ流用

県内の文化活動者自らが行う優れた文化芸術活動の一層の推進を図るため、県内で活動されている芸術家や文化芸術団体の優れた展示・公演・出版活動に助成した。

○事業の実施状況

区分	件数	実施主体
優れた文化芸術活動支援事業	2件	個人 演劇集団あり
刊行物発刊支援事業	4件	個人
周年支援事業	4件	民謡松弘美会 イマージュガラス工芸教室 鳥取書道女流展実行委員会 ダンスコング
文化芸術活動によるまちづくり支援事業	1件	倉吉ユースクワイア“にじ”
次世代活動者育成支援事業	10件	鳥取JAZZ実行委員会 倉吉ユースクワイア“にじ” NPO法人アリス実行委員会 鳥取ジュニアオーケストラ 米子市公会堂虹のひろば実行委員会 特定非営利活動法人まちづくりネット ミュージカル劇団 Joy キッズ劇団きこのたけのこ 鳥取市少年少女合唱団 打吹童子ばやし第27期演奏会実行委員会
映像作品活用支援事業	1件	よなご映像フェスティバル実行委員会
国民文化祭等参加推進事業	8件	逢鷲太鼓連 打吹童子ばやし 倉吉打吹太鼓奏者の会 鳥取女声合唱団 岡野貞一記念合唱団 鳥取県かるた協会 米子管弦楽団 高城牛追掛節保存会

第9回とっとり伝統芸能まつり開催事業	13,257,000	0	13,076,779	0	180,221	
--------------------	------------	---	------------	---	---------	--

地域の誇りとして受け継がれてきた伝統芸能を次世代へ引き継ぎ、活用の気運を広げることを目的として、第9回とっとり伝統芸能まつりを開催した。

○「第9回とっとり伝統芸能まつり」の開催

日時	平成30年5月27日(日)午後1時半～
場所	米子コンベンションセンター 多目的ホール
委託先	NPO法人 プロデュース・ハレ
来場者数	1,502人
出演団体	因幡麒麟獅子舞の会/混合チーム(鳥取市)、淀江さんご節保存会(米子市)、南無大智明大権現僧兵太鼓保存会(大山町)、高城牛追掛節保存会(倉吉市)、宇治傘踊保存会(岩美町)、茶町踊り保存会(湯梨浜町)、ひろしま安芸高田神楽天神神楽団(広島県安芸高田市)、長春師範大学音楽学院民族音楽演奏団(中国吉林省)

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額									
地域の伝統芸能魅力発見・発信事業	366,000	0 (30,500)	396,500	0	△ 30,500	・鳥取県文化芸術活動支援補助金から流用									
<p>地域に伝わるまつりや踊りなどの伝統芸能・行事を観光素材として扱い、地域における継承意欲を高めていくことを目的として、県外からの来訪客などに向けて伝統芸能の鑑賞・体験の機会を提供する団体等に対し、経費の助成を行った。</p> <p>・助成実績 2団体(一般財団法人鳥取県観光事業団中国庭園燕趙園 外1団体) ・助成金額:396,500円</p>															
国際文化交流事業	3,701,000	0 (△564,038)	2,654,993	0	1,046,007	・鳥取県文化功労賞知事表彰へ流用									
<p>文化芸術を通じた相互理解と国際交流を促進するため、鳥取県文化団体連合会に加盟する県域文化団体が行う海外文化団体との国際交流事業に対し助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>決算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県文化団体連合会国際交流事業</td> <td></td> <td> <p>文化芸術を通じた国際理解及び文化交流を促進することを目的とし、鳥取県文化団体連合会(県文連)の加盟団体が、韓国江原道等海外の文化団体と交流を行う事業に対して助成を行った。</p> <p>【実施主体】 県文連加盟の舞台分野団体 【開催地】 韓国平昌郡 【開催日】 平成30年9月26日(水) 【公演名】 江原道・鳥取県国際文化芸術交流公演(民踊) 【参加団体】 韓国芸総江原道連合会舞台分野団体 外</p> </td> </tr> <tr> <td>北東アジア美術作品展示会</td> <td></td> <td> <p>ロシア連邦沿海地方ウラジオストク市で開催された「第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に併せて開催された、「第20回北東アジア美術作品展示会」に本県の美術作家の作品を出展し、本県の文化芸術についての理解を深めていただくとともに、代表団を派遣し、各地域の美術家間相互の交流を図った。</p> <p>【開催時期】 平成30年10月30日(火)～11月4日(日) 【開催場所】 国立沿海地方美術館(ウラジオストク市) 【参加国】 鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県</p> </td> </tr> </tbody> </table>							区分	決算額	内容	鳥取県文化団体連合会国際交流事業		<p>文化芸術を通じた国際理解及び文化交流を促進することを目的とし、鳥取県文化団体連合会(県文連)の加盟団体が、韓国江原道等海外の文化団体と交流を行う事業に対して助成を行った。</p> <p>【実施主体】 県文連加盟の舞台分野団体 【開催地】 韓国平昌郡 【開催日】 平成30年9月26日(水) 【公演名】 江原道・鳥取県国際文化芸術交流公演(民踊) 【参加団体】 韓国芸総江原道連合会舞台分野団体 外</p>	北東アジア美術作品展示会		<p>ロシア連邦沿海地方ウラジオストク市で開催された「第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に併せて開催された、「第20回北東アジア美術作品展示会」に本県の美術作家の作品を出展し、本県の文化芸術についての理解を深めていただくとともに、代表団を派遣し、各地域の美術家間相互の交流を図った。</p> <p>【開催時期】 平成30年10月30日(火)～11月4日(日) 【開催場所】 国立沿海地方美術館(ウラジオストク市) 【参加国】 鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県</p>
区分	決算額	内容													
鳥取県文化団体連合会国際交流事業		<p>文化芸術を通じた国際理解及び文化交流を促進することを目的とし、鳥取県文化団体連合会(県文連)の加盟団体が、韓国江原道等海外の文化団体と交流を行う事業に対して助成を行った。</p> <p>【実施主体】 県文連加盟の舞台分野団体 【開催地】 韓国平昌郡 【開催日】 平成30年9月26日(水) 【公演名】 江原道・鳥取県国際文化芸術交流公演(民踊) 【参加団体】 韓国芸総江原道連合会舞台分野団体 外</p>													
北東アジア美術作品展示会		<p>ロシア連邦沿海地方ウラジオストク市で開催された「第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に併せて開催された、「第20回北東アジア美術作品展示会」に本県の美術作家の作品を出展し、本県の文化芸術についての理解を深めていただくとともに、代表団を派遣し、各地域の美術家間相互の交流を図った。</p> <p>【開催時期】 平成30年10月30日(火)～11月4日(日) 【開催場所】 国立沿海地方美術館(ウラジオストク市) 【参加国】 鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県</p>													
とっりの文化芸術探訪事業	4,054,000	0 (△15,120)	3,918,507	0	135,493	・芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業へ流用									
<p>全国的に大きな業績を残している本県ゆかりの文化芸術分野の先人について、その魅力や業績を再発見し、地域の文化資源として活用する取組を支援した。</p> <p>(顕彰事業の立ち上げへの支援) 西河克己(映画監督)</p> <p>(全国発信事業) 尾崎放哉(俳人)、池田亀鑑(文学研究者)、増谷麟(現像技師、実業家)</p>															

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額
鳥取県立県民文化会館管理委託費	334,684,000	△ 15,737,000	313,086,080	0	5,860,920	<p>鳥取県立県民文化会館の管理運営及び文化芸術事業の実施による県民の文化振興を図るための業務を指定管理者である公益財団法人鳥取県文化振興財団に委託するとともに老朽化した施設設備の改修を行った。</p> <p>(1) 管理運営委託の内容 ○ 指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) ○ 指定管理料: 平成30年度 240,617,000円</p> <p>(2) 施設改修(設計委託含む) ホール空調機改修工事 24,921,000円 会議棟屋根改修工事 20,407,680円 避難路非常扉改修工事 10,142,280円 非常用照明器具等更新工事 13,703,040円 高木樹木剪定業務 1,753,920円 非常用発電設備改修業務 1,541,160円</p>
新 鳥取県立県民文化会館エレベーター改修事業	0	54,550,000	22,760,000	31,790,000	0	<p>鳥取県立県民文化会館のエレベーターについて、経年劣化等による不具合を生じていることから当該設備の改修を進めた。</p> <p>(1) 県民文化会館昇降機改修工事(建設・電気工事) ① 工期 平成30年8月8日～令和元年5月24日 ② 契約額 54,238,680円(H30執行額9,460,000円、H31執行額44,778,680円)</p> <p>(2) 県民文化会館昇降機改修工事(昇降機設備) ① 工期 平成30年8月8日～令和元年5月24日 ② 契約額 83,160,000円(H30執行額13,300,000円、H31執行額69,860,000円)</p>
鳥取県立倉吉未来中心管理委託費	124,534,000	△ 3,232,000	115,092,560	0	6,209,440	<p>鳥取県立倉吉未来中心の管理運営業務を指定管理者である公益財団法人鳥取県文化振興財団に委託するとともに老朽化した施設設備の改修、備品の更新を行った。</p> <p>(1) 管理運営委託の内容 ○ 指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) ○ 指定管理料: 平成30年度 91,921,808円</p> <p>(2) 施設改修(設計委託含む) アトリウム防水工事 17,064,000円 アトリウム床誘導表示設置工事 3,726,000円 駐車場区画線修繕業務 1,786,320円 駐車場修繕業務 378,000円</p> <p>(3) 備品更新 ホワイトボード(3台) 138,672円 冷蔵ショーケース 77,760円</p>
鳥取県立倉吉未来中心大・小ホール整備事業	270,501,200	△ 22,718,000	238,442,520	0	9,340,680	<p>鳥取県立倉吉未来中心大・小ホールの音響設備等について、経年劣化等による不具合を生じていることから当該設備の改修を進めた。</p> <p>(1) 倉吉未来中心音響設備改修整備業務 ① 工期 平成29年6月9日～平成30年8月31日 ② 契約額 310,068,000円(H29執行額128,886,000円、H30執行額現年180,682,000円、H30逐次執行額500,000円) ※平成28年度中に入札し事業者を決定する予定であったが、地震被害のため入札を延期したものの。</p> <p>(2) 舞台機構設備吊物ワイヤー更新業務 ① 工期 平成29年11月8日～平成30年8月24日 ② 契約額 67,758,120円(H29執行額: 28,080,000円、H30執行額39,678,120円)</p> <p>(3) トイレ改修工事 ホール棟トイレ改修設計業務 1,198,800円(H29執行額) ホール棟トイレ改修工事 ① 工期 平成30年3月16日～平成30年8月30日 ② 契約額 17,582,400円(H29執行額: 0円、H30執行額17,582,400円)</p>

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額
鳥取県立童謡館管理委託費	107,228,000	0	103,058,092	0	4,169,908	
<p>鳥取県立童謡館の管理運営及び童謡・唱歌をテーマとした事業の実施、調査研究、資料収集等の業務を指定管理者である公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館に委託するとともに老朽化した施設設備の改修を行った。</p> <p>(1)管理運営委託の内容 ○指定期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) ○指定管理料:平成30年度 74,104,372円</p> <p>(2)施設改修(設計委託含む) 昇降機改修業務 16,092,000円 火災報知器受信機改修業務 2,138,400円 冷却塔・渦巻ポンプ等改修業務 6,212,160円 トイレ改修工事 3,105,000円</p> <p>(3)備品更新 木造教室プロジェクター(2台) 1,317,600円 音響操作卓 88,560円</p>						
米子コンベンションセンター管理委託費	263,853,000	△ 25,185,000	206,626,827	0	32,041,173	
<p>鳥取県立米子コンベンションセンターの管理運営業務を指定管理者である公益財団法人とっとりコンベンションビューローに委託するとともに、老朽化した施設設備の改修を行った。</p> <p>(1)管理運営委託の内容 ○指定期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) ○指定管理料:平成30年度 114,509,307円</p> <p>(2)施設改修(設計委託含む) 冷暖房設備改修工事 49,793,400円 自動制御設備更新業務 36,720,000円</p> <p>(3)備品更新 小ホールプロジェクター 5,604,120円</p>						
新 鳥取県立米子コンベンションセンター舞台照明・舞台吊物機構設備改修事業	8,378,000	(223,800)	7,087,000	1,514,800	△ 223,800	・文化政策課管理運営費から流用 ・指定管理者業務点検事業へ流用
<p>鳥取県立米子コンベンションセンター多目的ホール・小ホールの舞台照明・舞台吊物機構設備等について、経年劣化等による不具合を生じていることから当該設備の改修についてプロポーザル方式により事業者を決定し、設計業務に着手した。</p> <p>(1)米子コンベンションセンター舞台照明設備改修業務 ①工 期 平成30年11月8日～令和2年2月29日 ②契 約 額 470,491,200円(H30執行額2,950,000円、H31執行予定額467,541,200円)</p> <p>(2)米子コンベンションセンター舞台吊物機構設備改修業務 ①工 期 平成29年12月22日～令和2年2月29日 ②契 約 額 562,138,920円(H30執行額:3,660,000円、H31執行予定額558,478,920円)</p> <p>(3)委員会の報酬・費用弁償 477,000円</p>						
指定管理者業務点検事業	242,000	0 (250,200)	396,200	0	△ 154,200	・鳥取県立米子コンベンションセンター舞台照明・舞台吊物機構設備改修事業から流用 ・文化政策課管理運営費から流用
<p>文化政策課が所管する4施設(県民文化会館、童謡館、倉吉未来中心、米子コンベンションセンター)について、平成18年度から指定管理制度を導入しているが、平成30年度が第3期の指定管理期間の最終年であることから、第4期の指定管理期間(平成31年度～令和5年度)に向けて、審査委員会による指定管理者の審査(指名指定)を行った。</p> <p>(第1回会議)平成30年5月16日-倉吉未来中心、5月18日-米子コンベンションセンター、5月23日-県民文化会館、童謡館 (第2回会議)平成30年10月10日-米子コンベンションセンター、県民文化会館、10月12日-童謡館、倉吉未来中心</p>						

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額
文化政策課管理運営費	13,241,000	0 (△474,000)	11,422,412	0	1,818,588	・鳥取県立米子コンベンションセンター舞台照明・舞台吊物機構設備改修事業へ流用 ・指定管理者業務点検事業へ流用
<p>一般財団法人地域創造の活動に対する財政的支援及び文化行政推進のための連絡調整及び各種会議の出席等に要する経費を支出した。</p> <p>○一般財団法人地域創造負担金:2,413,000円 地域における創造的で文化的な表現活動を振興することによる地域づくりを目的とする一般財団法人地域創造の運営基盤を整備するため、全都道府県ほかの自治体が財政的負担を行うもの。</p> <p>○エンジン01文化戦略会議会費:30,000円 エンジン01文化戦略会議にかかる年会費を負担するもの。</p> <p>○文化政策課に係る事務費:8,979,412円 非常勤職員報酬、連絡調整及び各種会議の出席等に要する経費</p>						
県立童謡館基金造成補助事業	0	488,000	488,000	0	0	
<p>童謡館の指名指定管理者が寄付行為に定める公益事業の実施及び受託する童謡館の管理運営に充当することを目的として設ける基金に助成を行った。</p> <p>○事業主体:公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 ○助成金額:488,000円</p>						
県立米子コンベンションセンター基金造成補助事業	0	7,772,000	7,189,000	0	583,000	
<p>米子コンベンションセンターの指名指定管理者が寄付行為に定める公益事業の実施及び受託する米子コンベンションセンターの管理運営に充当することを目的として設ける基金に助成を行った。</p> <p>○事業主体:公益財団法人とっとりコンベンションビューロー ○助成金額:7,189,000円</p>						
新 県立倉吉未来中心基金造成補助事業	0	1,171,000	1,171,000	0	0	
<p>倉吉未来中心の指名指定管理者が寄付行為に定める公益事業の実施及び受託する倉吉未来中心の管理運営に充当することを目的として設ける基金に助成を行った。</p> <p>○事業主体:公益財団法人鳥取県文化振興財団 ○助成金額:1,171,000円</p>						

事業名	予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残高	事業の計画と実績・成果・不用額
鳥取県文化功労賞知事表彰	3,394,000	0 (564,038)	3,687,720	0	△ 293,720	・国際文化交流事業から流用
<p>文化芸術の分野において顕著な功績をあげ、県民文化の向上発展に貢献するとともに、永年にわたり文化芸術活動に従事し功績顕著な次の2名を表彰し、業績を紹介する巡回展を開催した。</p> <p>[受賞者] 國田俊雄(郷土史)、石谷孝二(彫刻)</p> <p>[授与式] 平成30年11月14日(水)</p> <p>[巡回展] 平成31年1月5日(土)～10日(木) 米子市美術館 平成31年1月19日(土)～23日(水) 倉吉博物館 平成31年1月26日(土)～30日(水) 鳥取県立博物館 ※各会場とも初日にギャラリートークを開催</p> <p>[講演会] ○記念講演会1 講師:國田俊雄 場所:米子市立図書館 開催日:平成31年1月5日(土) ○記念講演会2 講師:石谷孝二 場所:鳥取県立博物館 開催日:平成31年1月26日(土)</p>						
新) 大伴家持生誕1300年記念事業開催支援事業	3,000,000	3,000,000	6,000,000	0	0	
<p>平成30年度は万葉集の最後の歌を因幡国守として赴任した因幡の地で詠んだ大伴家持の生誕1300年に当たる。郷土の誇りである大伴家持を次の世代へ伝えるとともに万葉のふるさと鳥取を全国へ発信するため、生誕1300年記念事業実施に係る支援を行った。(補助対象団体:大伴家持生誕1300年記念事業実行委員会)</p> <p>(1) 記念講演 ・期日:平成30年9月15日(土) ・会場:鳥取市国府町コミュニティセンター ・講師:漫画家 里中満智子 氏</p> <p>(2) 記念フェスティバル ・期日:平成30年10月20日(土)～21日(日) ・会場:鳥取市国府町コミュニティセンター ・内容:音楽イベント(市民合唱、朗読)、記念講演・シンポジウム、万葉故地バスツアー、記念トークショー 等</p> <p>(3) 音楽朗読劇 ・期日:平成31年3月9日(土) ・会場:とりぎん文化会館 梨花ホール ・内容:大伴家持が万葉集を編纂した経緯や万葉集の歌に込められた想いなど万葉歌人 大伴家持の人生を朗読・劇・音楽によって綴る。</p>						
目 計	1,388,804,200	△ 595,000	1,280,076,608	33,304,800	74,827,792	
合 計	1,388,804,200	△ 595,000	1,280,076,608	33,304,800	74,827,792	

9 予備費の充用調べ

該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ

(単位:円)

科 目	事 業 名	継続費の総額	平成30年度継続費予算現額			支出済額	残 額	翌年度 逐次 繰越額	左 の 財 源 内 訳			
			予算計上額	前年度逐 次繰越額	計				繰越金	特 定 財 源		
										国庫	起債	その他
計画調査費	米子コンベンションセンター舞台照明・舞台吊物機構設備改修事業費	1,034,395,000	8,378,000		8,378,000	6,863,200	1,514,800	1,514,800	514,800		1,000,000	
計画調査費	鳥取県立県民文化会館エレベーター改修事業費	140,536,000	54,550,000		54,550,000	22,760,000	31,790,000	31,790,000	790,000		31,000,000	
合 計		1,174,931,000	62,928,000	0	62,928,000	29,623,200	33,304,800	33,304,800	1,304,800		32,000,000	

(2) 繰越明許費調べ

該当なし

(3) 事故繰越調べ

該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

該当なし